

都市計画道路盛岡駅本宮線／杜の大橋／開通

11月17日



平成 18 年 11 月



事業着手前（破線は、橋の位置）

● 盛岡の将来都市構造と「杜の大橋」



● 県都盛岡における杜の大橋が担う機能

- 盛岡の将来都市構造を支える道路網計画は、都心環状と市街地環状からなる2ルートの環状道路と6本の放射道路（以下「2環状6放射道路網」という。）で構成されています。
- その中で、現都心、新都心形成を目指す盛岡駅西口及び盛岡南両地区を結ぶ道路は、「都市軸」の骨格道路であるとともに、バス等公共交通機関の交通軸として位置付けられており、杜の大橋は雫石川の兩岸を結び、この都市軸の「核」としての役割を担う重要な役割を担うこととなっています。
- 以上のように、杜の大橋は県都盛岡の街づくりを支えるとともに、円滑な都市交通の確保、市街地の開発や誘導等による都市軸の形成を図ることから、その早期整備が地域から強く要望されていたものであり、これらの実現を図るため、整備を行って参りました。
- 現在、路線沿線には盛岡駅西口に盛岡地域交流センター（マリオス）、いわて県民情報交流センター（アイーナ）、岩手朝日テレビ社屋、集合住宅等が立地するなど、都市軸の形成とともに、盛岡の21世紀の街づくりが具現化しつつあるものと期待しています。
- なお、架橋地点は白鳥の飛来地や野鳥の生息地として貴重な地域であるとともに、都市の中にある河川として、また四方の山々の眺望等を確保できる視点場として景観上も重要なポイントとなっています。このため、専門家等の提言を踏まえ、環境に配慮するとともに景観との調和を図った橋とするよう配慮がなされています。

1 事業概要

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ○ 都市計画道路名 : 盛岡駅本宮線 | ○ 事業箇所 : 盛岡市中川町～盛岡市本宮 |
| ○ 事業延長 : 918m | ○ 道路規格 : 4種1級 |
| ○ 道路幅員 : 23.0m～29.0m | ○ 設計速度 : 60Km/hr |
| ○ 杜の大橋 : 494m（7径間連続PC箱桁橋） | ○ 高架橋 : 160m |
| ○ 7-カバート : 80m | ○ 事業期間 : 平成8年度～平成18年度 |
| ○ 事業費 : 約60億円 | |

2 事業経過 ○ 都市計画決定：平成5年

○ 事業着手：平成8年

事業アセスメントや毎年、橋周辺のモニタリングを行うなど、環境調査を重ねながら工事を進めるとともに、橋の設計にあたっては、景観検討委員会を設置し、自然と景観との調和を図りました。



本宮側から盛岡駅西口方面



親柱



バルコニーから岩手山を望む



デザイン高欄



景観検討委員会



杜の大橋名称選考表彰式



本宮小学校見学会

- 杜の大橋関係スナップ写真
- 橋梁デザイン、高欄、親柱、照明灯などすべて景観検討委員会の提言を踏まえて、計画を作成しました。

問い合わせ先 盛岡地方振興局土木部

都市整備グループ

TEL 019-629-6642